

インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 16 週 (2026/4/13~4/19) 感染症発生動向調査速報値 (2026/4/22 時点) 】

定点医療機関※新規患者報告数： **87** 人、定点医療機関当たり **1.81** 人

※急性呼吸器感染症定点 (旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科29定点、内科19定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

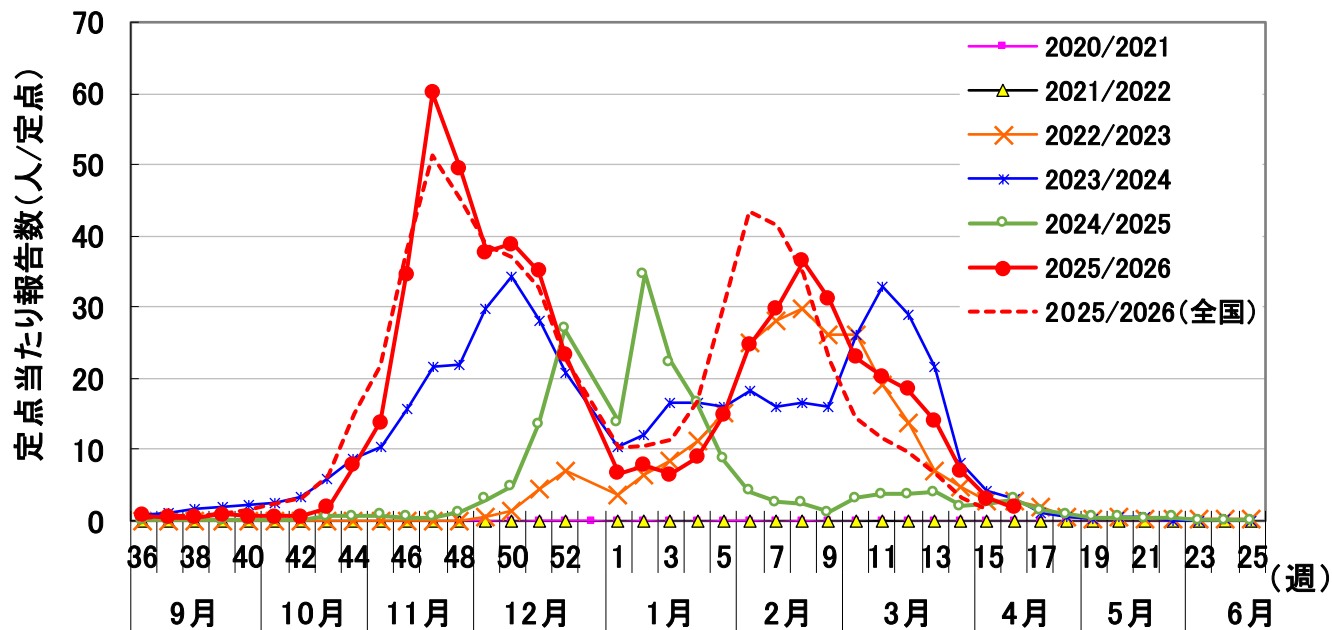
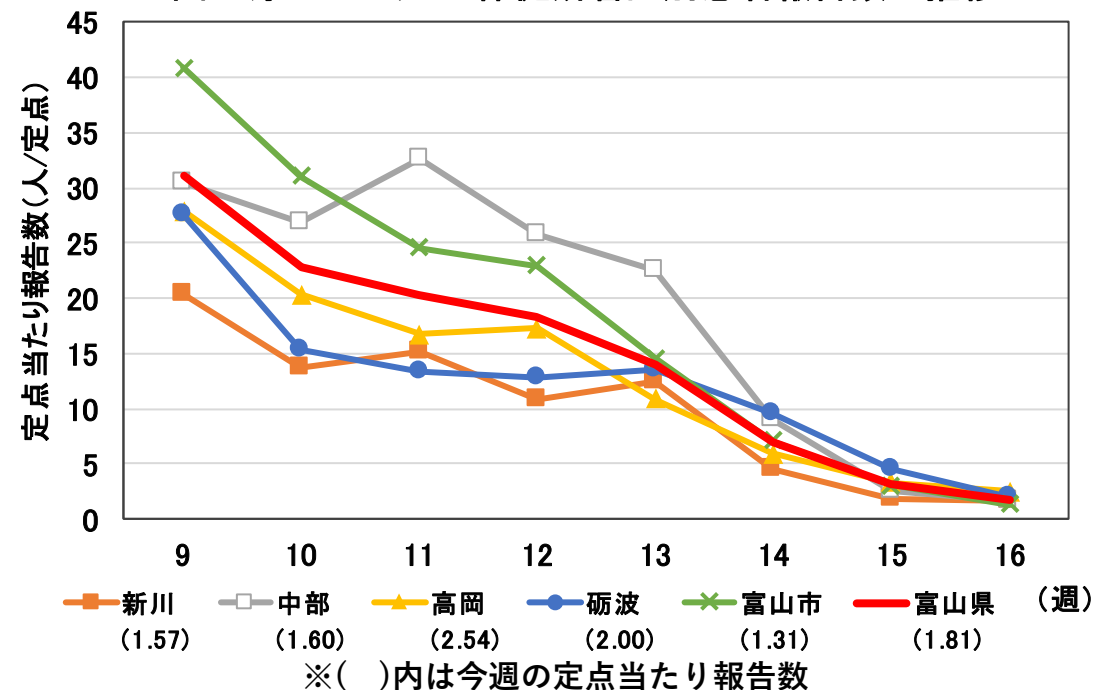
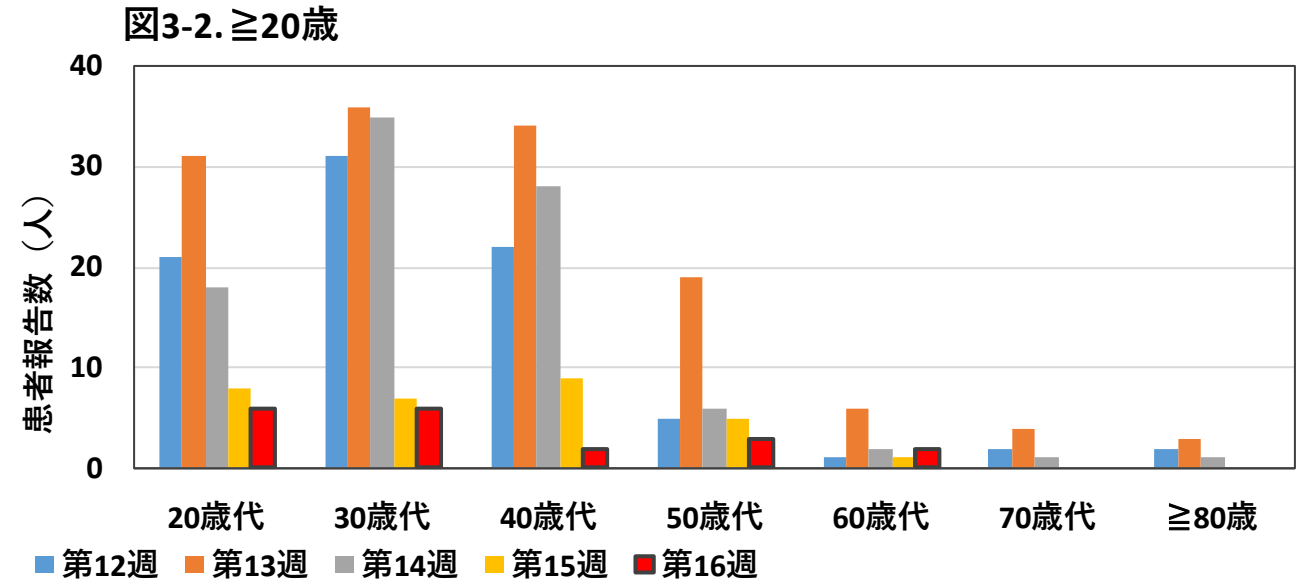
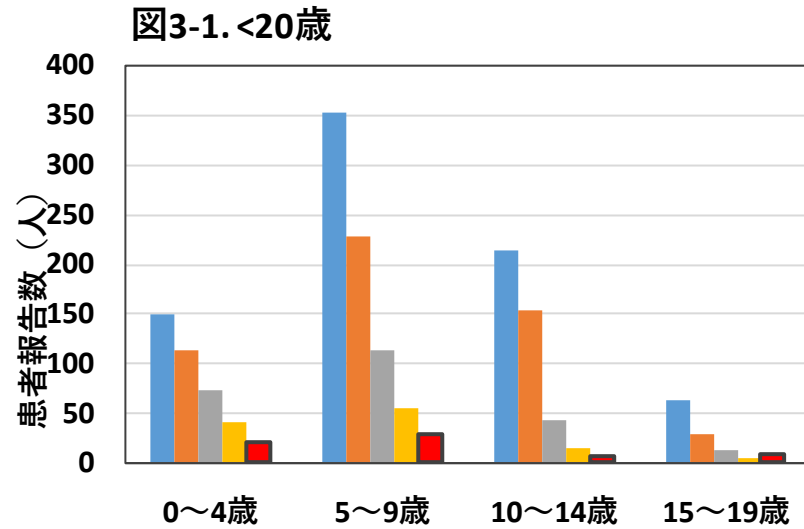


図2. 厚生センター・保健所管内別患者報告数の推移



- 富山県の患者報告数は今週1.81人/定点となり、先週 (3.11人/定点) から減少した (図1)。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると、すべての管内で先週から減少した (図2)。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）



- 15～19歳、60歳代を除くすべての年代で減少または横ばいであった。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況（第15週）

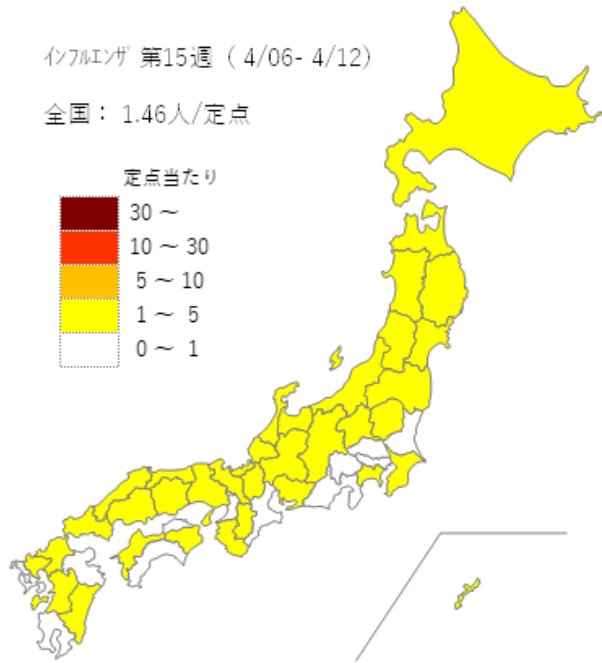
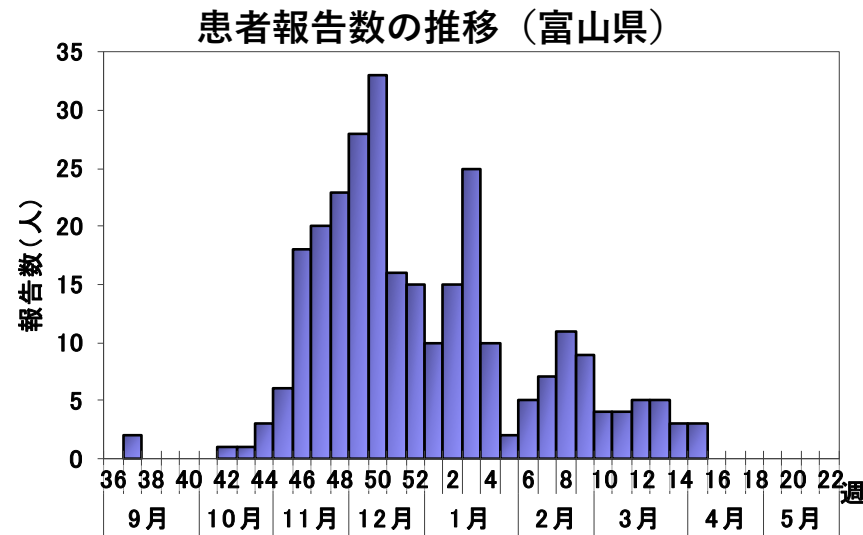


図5. インフルエンザ入院サーベイランス



- 全国では第15週に1.46人/定点となり、第14週（3.21）から減少した。（図4）。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランスでは、第16週に入院報告はなく、先週（3例）から減少した（図5）。
- 第16週はインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が高等学校で1件あった（[富山県インフルエンザ関連情報](#)）。
- 県内の患者報告数は第8週をピークに減少が継続している。B型の検出割合は89.7%（第15週91.8%）と依然多くを占めていた（[富山県感染症発生動向速報2026年第16週](#)）。減少が継続しているものの、流行期入りの目安（1.0人/定点）を下回っておらず、引き続き発生動向を注視したい。